

地獄絵図を燃やす

2023年10月21日(土) 日没後 世界遺産 奈良 吉野山 金峯山寺にて

紫舟が描いた大作「地獄絵図」四連作を、金峯山寺の僧侶の皆様にお経を唱えてご供養をしていただき、燃やすことでいままさに世界で起きている地獄とかすような戦争、疫病、人々の心の中の地獄の一切を焼き尽くし、蔵王大権現様に願いをおとどけする「大きな祈り」を行います。

◎「地獄」を描いた紫舟の心情

“未知なるウイルス”は、人々の不安を煽り、世界中の人を「死」に直面させた。命あるものはみな生まれては死ぬ。新しいものは古くなる。形あるものは朽ちる。それらが自然の摂理と知りながら、死への恐怖は尽きない。生きゆくわたしたちの先にある死への恐怖が無知からくるものであれば、その不安から解放されるには「何のために人は死ぬのか?」を知り考えることだと悟った。生きることに目的があるように死ぬことにも目的がきつとある。人間を知り、〈死の目的〉や〈命〉と対峙できるような大作「地獄絵図」を制作する。平安を失った人の心を落ち着かせ、恐怖をやわらげる祈りの力は、アートにもある。

◎「人の心に巣食うの地獄」とは

怒り、妬み、憎しみ、ゆるせない気持ち、悲しみ、卑下、傲慢、イライラ、寂しさ、怯え、不安、恐れ、囚われ、欲深さ……これらは日々の負を養分として増殖し煮えたぎり、心を浸食し、人々の行動や言動を制御不能におとし入れる、生き地獄。人は、誰しも心に何かしらの地獄をかかえている。



◎ 金峯山寺様を選んだ理由は『恕』の精神

「ゆるす」は3つある。

- 1、赦す (罪を赦す)
- 2、許す (許可する)
- 3、恕す (思いやりの心で罪 / 過ちをゆるす)

「恕す」とは、怒りの中にあっても、慈悲をもってすべてをゆるす。自分のためと相手のためになることを同時に行えたときに、自分と相手を完全に恕することができる。すると負の連鎖は絶たれ、生き地獄と化した感情は消え去り、ついに心に平安が訪れる。

◎ どのように心の地獄を手放すのか。

紫舟の地獄絵図を、僧侶の方々のお経と、蔵王大権現様の火炎でご供養し焼失させることで、恨みや怒りが焼失することを祈り心の中の地獄一切を焼き払います。大きな祈りの炎は私たちの心身を清め、私たちの願いは大権現様に届けられます。

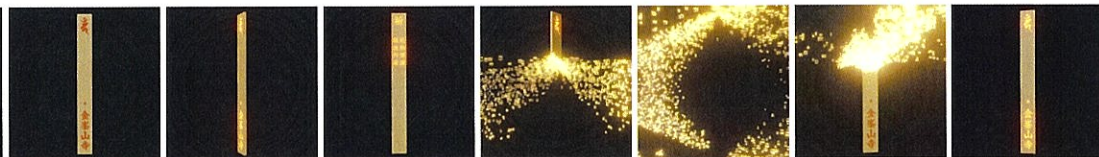


デジタル護摩木

O I N O R I

日本古来からの文化「護摩祈禱」。

この護摩祈禱をデジタル上で行う世界初の取り組みを、世界遺産・金峯山寺のご協力で行います。実際のご祈禱でも名前と願いを書いた護摩木を焼くように、「デジタル護摩木」もデジタル空間でご祈禱後に消失します。この「デジタル護摩木」は、世界中から祈りに参加できるよう、特別に制作しました。心に巣喰う地獄を手放す、大きな祈りにぜひご参加ください。



デバイス画面上で護摩木がまわる！光る！

デジタル護摩木は、参加者の祈禱名と願いが書かれた世界に一つの護摩木です。また現地では参加者の祈りが書きうつされた紙札が用意され、デジタル上でだけでなく、金峯山寺でも実際にご祈禱されます。護摩祈禱が終了するとデジタル護摩木も「焼失（消失）」し、後日ご祈禱完了の証印（NFTアート）が送信されます。

護摩祈禱とは？



護摩祈禱の護摩（ごま）は、「物を焼く」という意味で、護摩木はその際に燃やされる木のこと、おのの中に護摩木を井桁に組み上げて焚き、その火によって私たちの罪愆が焼きつくされ清らかな心になるよう、ご本尊様に除災招福、開運厄除の成就をお願いします。

金峯山寺に行けなくても デジタル護摩木により実際に現地でもご祈禱！

NFT アート（＝ デジタル護摩木）を日本円で購入し所有！

木札型ウォレット（＝ NFTag™）で NFT アートを持ち歩ける！

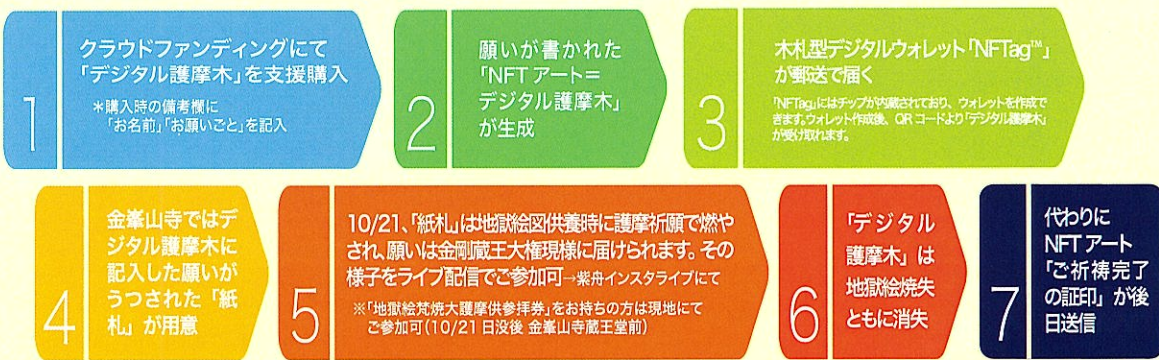
クラウドファンディングで

プロジェクト支援・作品購入はこちらから ▶▶▶



CAMPFIRE

「デジタル護摩木」生成方法と流れ



NFTag™ 木札型

NFT デジタルアートに初めて触れる方も安心していただけるよう、ご購入いただいた「デジタル護摩木」を、いわゆるお守りのように肌身離さず持ち歩ける木札型にいたしました。
チップが内蔵されており、ここからいつでも「デジタル護摩木」にアクセスができます。クラウドファンディングでデジタル護摩木ご購入後、随時発送予定です。

価格

地獄絵図焼失を

- ・生配信で視聴＆参拝したい方は … 5,500 円
 - ・金峯山寺で現地参拝したい方は … 8,800 円
- の「デジタル護摩木」をお選びください

発行数

現地参拝限定 200

販売期間

発売中～ 10/15

購入場所

CAMPFIRE

内容

- ・ NFT 「デジタル護摩木」 動画データ
- ・ 木札型デジタルウォレット「NFTag™」
- ・ 祈禱名の紙札具現化・ライブ配信での護摩祈禱参拝



紫舟（シシュ） 書家／芸術家／大阪芸大教授

六歳から書をはじめ、奈良で三年間研鑽を積む。『書』と、書を平面や伝統文化の制約から解放した『三次元の書』、書が絵画と融合した『書画』など、伝統文化を新しい斬り口で再構築した紫舟の生み出す作品は、唯一無二の現代アートと言われている。国内では、天皇后両陛下（現上皇皇后両陛下）が紫舟展に行幸啓を賜。世界では、フランス・ルーヴル美術館地下会場で「全堂」「最高位全堂」を日本人初のダブル受賞。NHK大河ドラマ「龍馬伝」や「美の壺」の題字も手がける。